

管理コストを 円でも削減したいオーナー様へ



01

ビル・施設の電気代で、最も気になるのは以下の内どれですか？

A 冷暖房

B 照明

C エレベーター・エスカレーター

D 換気



02

特に気にされないのが **Dの換気**。
でも実は、**無駄な電気代を大量に消費**しているのです。

03

例えば一般的なオフィスビル
(1フロア1,000㎡)の場合



換気設備を含む
空調関連
年間電気料金は
※
約170万円

※「オフィスビルの形態とエネルギー実態調査」
(2009年当社実証実験より)

04

しかし、省エネに
お金をかけたら
本末転倒に...



結局コストが
かかってしまう...



▶ 管理コスト削減のキーポイントは「換気設備」。

換気運転にかかるコストを、手間いらずで
大幅に削減できる方法があります！



ビル・施設の 管理コストを削減

eco-people

イーコップ 「e-COP」

環境省 地球温暖化対策
技術開発事業 成果品

特許出願中

- 1 「e-COP」は内蔵されたCO₂センサにより、在室者数の変化を自動的に計測することができます。
- 2 部屋の使われ方に応じて、換気量を常に調整することで空調にかかる電気代を大幅に削減します。
- 3 現在ご使用の換気設備に取り付けるだけ。オーナー様のご負担になる作業は一切ありません。



例えば



- 都内オフィスビル3棟での実証実験値
- 個別空調オフィス1フロア1,000m²にe-COP1セットを設置の場合
- 費用償却年数：約2年

年間削減
電気料金

約14万円

空調関連電気料金を
年間8%削減!!

信じられないほど手軽に導入できます！

01

省エネ・ルールを常に 自動更新

当社開発の自動最適化アルゴリズムにより、常に快適な室内環境を維持します。

02

初期メンテナンス費が 完全無料

今なら年間保守費用（通常25,000円）が最初の1年間はかかりません。

03

しかも、設置は スピーディー

2～3時間で設置完了。
その日からすぐに省エネスタート。

詳しくはホームページへ

ビルCOP3

検索

【環境省地球温暖化対策技術開発事業】

既存設備と館内人流データを有効活用した低コスト省エネ管理システムの開発

環境省委託事業における
実施協力機関

- 工学院大学 ● 東京工業大学 ● 日建設計総合研究所 ● 東京急行電鉄 ● ORIXグループ
- 三井不動産ビルマネジメント ● 三井住友海上保険グループ ● 総合警備保障 (ALSOK)
- 富士経済 ● オフィスビル総合研究所
- クールネット東京（東京都地球温暖化防止活動推進センター） 敬称略・順不同

e-COP

当社開発：自動最適化アルゴリズム搭載
（換気量省エネ制御システム）

システム概要

1 メインユニット

【キーエンス社のCPUコントローラー】KEYENCE

- 消費電力 約5W
- 大きさ W120mm×D90mm×H120mm程度
- 質量 300g

2 CO₂センサユニット



株式会社「ベクトル総研」

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-19-16 越一ビル6階

お問い合わせ

03-3409-1012

FAX 03-3409-1002

URL <http://vri.co.jp/>